

発行日 令和7年(2025年)8月15日
発行 吉田社会福祉協議会
発行責任者 鈴木正穂

終戦から80年の夏！吉田のみなさん、暑さに負けないでお元気でお過ごしでしょうか？

私が吉田社協の会長を引き受けて5年目になります。この間、コロナ禍も経験しましたが、みなさまのご理解とご協力をえて地域福祉の向上に向けて、活動を進めていくことができました。

令和7年度は5月24日に第四錦林小学校にて開催した評議員会で、令和6年度の決算、事業報告、また7年度の事業計画、事業予算も承認されました。

本年も「障がいのある方もない方も子どもから高齢者まで誰もがふれあい、つながるまちづくりを」を重点目標に、地域の絆を大切に、各事業を進めていく所存です。

なお吉田社協は設立30周年事業を11月から3月頃に開催することを企画しています。

今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

吉田社会福祉協議会会長 鈴木正穂
役員一同

吉田区民夏まつり!

日時 9月6日(土) 午後3時30分～7時
会場 第四錦林小学校

コロナ禍で中断していた吉田区民夏まつりが復活して今年で3年目、「地域の子どもたちと住民とのふれあい。地域の文化・行事を知る。地域住民の交流、明るいまちづくり、子どもたちを地域で守り育て、吉田のみなさんの交流の場を目的に、PTA、児童館、各種

団体協議会、ボーイスカウト、ボランティアらが運営する夏まつりです。

吉田社会福祉協議会も賛同して実行委員会の一員として、準備から片付け、模擬店などに取り組みます。みなさん、ぜひお越しください！

2025年 第45回 吉田区民夏まつり

日時
9月6日(土) 15時30分～19時

会場
京都市立第四錦林小学校

プログラム ※詳細は裏面をご覧ください。

- 剣鉾差し
- 和太鼓
- 盆踊り
- オバケミッケ!
- 模擬店
- ゲームコーナー
- 体験コーナー

主催 吉田区民夏まつり実行委員会

駐車・駐輪について
駐車場はありませんので、お車でのご来場はお控えください。また、駐輪スペースが十分ではありません。お近くの方はなるべく徒歩でお越し下さい。周辺道路での駐車および駐輪はご遠慮願います。
熱中症に気を付けましょう!
当日は暑くなることを予想されます。こまめに水分を補給し、日陰に入る・帽子をかぶるなどの十分な暑さ対策を行ってください。

学校敷地内は全面禁煙・禁酒です。付近の施設でも喫煙はご遠慮ください。

第45回吉田区民夏まつり

プログラム

15時30分	開会のあいさつ	
15時40分～15時55分	手話歌・けん玉	(吉田児童館学童クラブ)
16時10分～16時35分	剣鉾差し	(四神小部活動剣鉾/吉田剣鉾保存会)
16時50分～17時15分	和太鼓	(四神小部活動和太鼓/吉田今宮太鼓)
17時45分～18時10分	オバケミッケ!	(6年生児童・PTA夏まつり委員)
18時25分～18時50分	盆おどり	(吉田今宮太鼓/会場のみなさまのご参加)
19時00分	閉会のあいさつ	

模擬店

コロケ	100円	(吉田消防分団)
おにぎり	150円	(吉田体育振興会)
わらびもち	150円	(吉田体育振興会)
シャベット	130円	(吉田民生児童委員協議会)
パン	180円	(吉田社会福祉協議会)
ジュース	100円	(吉田社会福祉協議会)
ポップコーン	50円	(吉田社会福祉協議会)
ラムネ	100円	(吉田スポーツ少年団)
たこせん	50円	(吉田スポーツ少年団)
かき氷	150円	(四神PTA OB会)
焼きそば	300円	(学童クラブ保護者会)
ピオーネ特製やまももドリンク	100円	(四神ピオーネの会)
水餃子	100円	(学童クラブ保護者会OB会)

ゲームコーナー ※ゲームコーナーには数に制限があるものがあります。お早めにご参加ください。

無料ゲームコーナー

- ビタッと! 缶コロゲーム・棒キャッチ
- パチンコまわし
- キャンディーのつかみどり
- 水中宝探し

100円ゲームコーナー

- 系引き
- ヨーヨーつり

体験コーナー

- ミニ消防車体験・防災服体験
- 剣鉾体験
- 敬老の日に向けたハガキ作成・缶バッジ作成
- 郵便車・郵便バイクの展示
- 各種警察広報
- タラヨウの葉っぱでハガキを書く

(吉田児童館)
(日本ボーイスカウト京都第42団)
(吉田地域安心安全まちづくり推進委員会)
(祭り人のみなさま)
(祭り人のみなさま)
(祭り人のみなさま)
(消防分団)
(吉田剣鉾保存会)
(ばすくま郵便局の仲間たち)
(ばすくま郵便局の仲間たち)
(川崎警察署)
(吉田山の里山を再生する会)



2025年(令和7年)度 事業計画

重点
目標

障がいのある方も子どもから高齢者まで
誰もがふれあい、つながるまちづくり

寝具クリーニング事業

8月25日(月)・26日(火)

一人暮らし高齢者世帯・障害者の方を対象に、「寝具等丸洗い乾燥」を実施します。集荷場所に集めた寝具を業者が洗濯、夕方に各家庭にお返しします。



●ふとん700円 ●毛布 350円

詳しくはご町内の回覧をご覧ください。

米寿者のお祝い

9月15日(敬老の日)

米寿(88歳)を迎えられた方にお菓子、商品券、賞状をお宅にお届けします。昭和14年(1939年)1月から12月生まれの方が対象です。

よしだ学園「青空フェスタ」

10月26日(土) 近衛中学校体育館

障害者施設「よしだ学園」と住民の交流の場、バザーや近衛中学校の吹奏楽部、和太鼓、子供コーナー、野菜市、パンの販売など楽しい催しです。

防災の集い

12月7日 (四錦林小学校)

災害は忘れたところにやってくる、吉田自主防災会主催で総合防災訓練が実施されます。給食訓練として豚汁の炊き出しをします。「よしだ学園」・育成会左京支部も参加されています。



健康すこやか学級

介護予防事業として、高齢者を対象に四錦憩いの部屋、みずき寮、吉田の森などで脳トレ、健康すこやか体操、ミニ講演会、輪投げなど。毎月1回開催。

子育て広場「すくすくサロン」

6回開催。吉田児童館で0歳児～就学前の幼児と保護者が民生児童委員らを交え、リラックスした時間を

過ごしてもらえます。クリスマス会なども。隔月1回10時半～11時半。5、7、9、11、12、3月に開催

福祉教育

●認知症あんしんサポーター」講座

6月27日(金) 第四錦林小で5年生児童35人を対象に「高齢者疑似体験」も実施され熱心に勉強。左京区南地域包括支援センターが運営。

・近衛中学2年生を対象にした「高齢者疑似体験」にも協力します。

要援護者日常支援事業

民生委員、老人福祉員、ボランティア委員さんと要援護者を月1回訪問、見守り、相談相手にもなります。(主に一人暮らしの高齢者世帯約320世帯を対象)

広報誌「ふれあい吉田」の発行

共同募金の助成金など活用して8月、2月に各世帯に配布します。

左京区社協への協力

左京区社会福祉協議会が実施する交流事業や地域包括支援センターの事業、吉田地域安心安全まちづくり推進委員会の事業などに積極的に参加します。

左京区社協の賛助金募集活動

活動の資金になる賛助金募集を令和8年2月に行います。ご協力のほどよろしくお願いします。

ボランティア委員会研修会を実施

6月28日(土)「よしだ学園」にてボランティア委員会を開催しました。左京区社協木俣事務局長、二木職員にご参加いただき、社協の役割やボランティアについて、寝具丸洗い事業などの事業計画について説明し、またブロック長さんを決めました。



吉田社協と左京区社会福祉協議会について

左京区社会福祉協議会事務局長 木俣 紀子

左京区社協は社会福祉法人として、「人と人とのつながりを広げ、誰もが安心して共生できる地域福祉を推進する」民間の組織で、左京区内28学区の学区社協があります。昨年12月に事務局が左京区役所2階に移り、職員11名が地域福祉活動のサポートをしています。

学区社協活動の支援

介護予防を目的とした健康すこやか学級などへの取組支援と助成金による運営支援。

区ボランティアセンター

ボランティア活動に関する相談や情報提供、入門講座の開催。大規模災害発生時には区災害ボランティアセンターの設置と運営。

区域の福祉ネットワークづくり

左京区の福祉関係、団体などと連携のもと、福祉課題の連絡調整や協議、協働の取組み。

子どもの居場所づくりの支援

子ども食堂など運営の支援、企業や区民の方からの寄付の受付、情報交換会の開催。

地域の支え合い活動の推進

各事業に、吉田学区の皆さんからいただいた区社協賛助会費や共同募金を活用しています。

●日常生活自立支援事業として認知症や知的や精神障がいがある方の金銭管理等や福祉サービス利用のお手伝い。

●生活福祉資金貸付事業として障がい者、高齢者、低所得世帯に資金の貸付など相談事業。

生きづらさを抱えた方に気付いたら、吉田社協にお伝えください。その「気づき」が左京区社協に伝えられ、誰もが安心して共生できるまちづくりにつながっていきます。

左京区社会福祉協議会

左京区役所2階

電話 075-723-5666

FAX 075-723-5665



吉田社協 7年度予算について

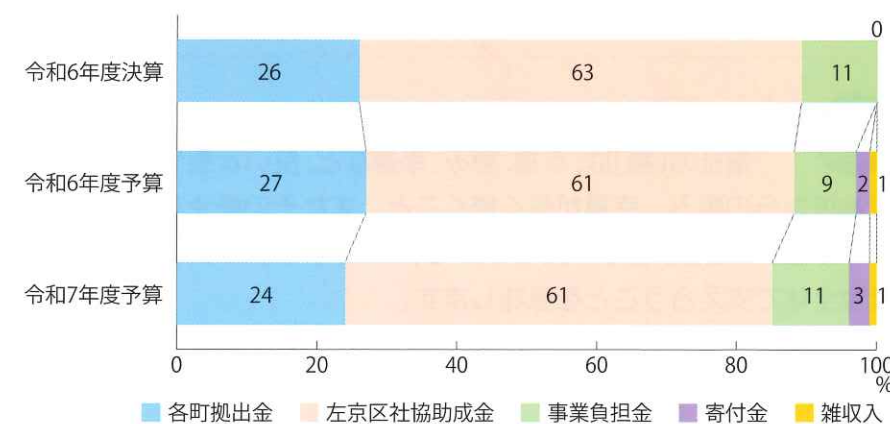
会計 和田 隆夫

●収入です。吉田社協は、独自の財源がありません。財源は、①区社協からの還付金や各種の事業等への助成金48万円* ②吉田自治連から各種団体に交付される助成金(昨年度21万円が今年度18万円へ減額)が主なものです。

*学区内の皆様からの左京区社協賛助会費も原資の一部です。令和6年度は44万円を頂きました。ありがとうございました。

●支出です。吉田区民の福祉の向上のために各種の事業を実施します。運営費に7万円。各種事業費に72万円、30周年記念事業と予備費で10万円等です。自治連からの助成金が減額され厳し

い財政運営になります。今後も活動への需要が増えてくることが予想され、財源確保について考えなければなりません、皆様もお考えいただければ幸いです。



極私的夏まつり案内～私と吉田と夏まつり

吉田区民夏まつり実行委員長・PTA会長 角田 龍平



実行委員長という大役は私には些か荷が重い。というのも、私は、「生まれも育ちも吉田」という「吉田ガチ勢」ではない。まごうことなき、「ニワカ」である。

2010年。結婚したばかりの私は、吉田に所在する妻の実家に越してきた。社会通念上、マスオさんなる存在は居心地が悪いものらしい。

しかし、私の場合、マスオさん歴も15年を数えて、岳父のポロシャツを勝手にシェアするモンスターマスオと化している。

居心地が良いのは我が家だけではない。むしろ、15年の間に芽生えた吉田という町への愛着が、妻の実家に住み続ける動機となっている。

以前は出町柳から京阪電車に乗り、終点の淀屋橋まで仕事に通っていたが、娘の朱い実保育園入園を機に、事務所も吉田に移転した。

娘が四錦小に入学した昨年の春からは、毎朝近所の子どもたちと一緒に吉田山を越えて通勤するようになった。登校班との同伴出勤を続けた成果だろうか、初めて参加した吉田神社の神幸祭でこんがり日焼けした私を見た世話係の婦人の方から、社務所で白丁に着



替える外国人留学生ボランティアの列に並ぶよう英語で促された。

昨年の夏まつりでは、「オバケミッケ」という企画で、6年生が扮するオバケのボスキャラを担当した。オバケの更衣室になっていた教室で、モンスターマスオがモンスターのマスクを装着した途端、勢いよく教室の扉が開き、スポーツ刈りをした6年生男子に「オバケガチ勢おる!!」と絶叫されたのは良き思い出だ。

吉田の老若男女が、「ガチ勢」と「ニワカ」が、入り乱れて楽しめるのが夏祭り。

9月6日、吉田区民夏祭りで会いましょう。

役員名簿

〈会長〉鈴木正穂 〈副会長〉岡野かつ代、菊池嵯智子、長谷川輝子 〈会計〉和田隆夫

〈理事〉(すこやか学級) 桑原富子、塩見包子、武仲知(まちづくり) 山崎隆子、水越薫、清水好、西村由美、小坂博子、小林瑠美子、水上みさ子、藪田充(よしだ学園)

(子育てサロン) 松浦由香、堀川啓子、田中真理子、(相談役) 西村啓子

〈監事〉大野二郎・高橋安生

〈ボランティア委員〉(◎ブロック区部長 ○副部長)

◎泉殿町 桑原富子 ○田郷英津子 ◎上阿達町 西村由美 ○中村優子 ◎牛ノ宮町 小林留美子 ○川口浩子 ◎中阿達町 佐々木麻紀 ○林弓岐子 ◎橘町 水上みさ子 ○堀野裕子 ◎下阿達町 岡野かつ代 ○田中真理子 ◎本町 小俣和子 ○今野圭子 ◎二本松 中村豊子 ○上大路 武中知 ◎中大路 松久由加里 ○下大路 ○北みゆき ◎近衛町 松井洋子 ○小坂博子

編集
後記

「福」「祉」とは

福祉の「福」は、幸福、恵み、幸運など、良い状態や状況を表す言葉。「祉」は神様からの恵み、幸福が長く続くこと、またその機会を表す言葉だそうです。

つまり、「福祉」とは、人々が幸せに、そしてより良い生活を送れるように、社会全体で支え合うことを意味します。

吉田社協も、「福」「祉」の意味をかみしめながら地域福祉に貢献できれば幸いです。今後ともご支援のほどおろしくお願いします。夏バテにお気を付けて！

(鈴木)

各事業などの問い合わせ先

鈴木正穂 (中大路町)
TEL 075-761-5537

菊池嵯智子 (中大路町)
TEL 075-771-8690

岡野かつ代 (下阿達町)
TEL 075-771-6301